

令和7年度 昭和村立昭和中学校 学力向上グランドデザイン

★学校経営・運営ビジョンとの関連：重点目標

「主体的/協働的に学ぶ態度の育成」「個別最適化された学びの実現」「知識・技能の確実な定着」

教育目標

郷土を愛し、自律への高い志をもち、可能性に挑戦する
～自尊心・向上心・自己肯定感の育成～

<生徒の実態・学力の状況>

- NRT学力検査の全学年偏差
値平均（R7.2月実施）
国語 54.9 数学 52.6
英語 55.9 理科 56.1
社会 56.1
オーバーアチバー 3人
アンダーアチバー 0人
- 全国学力学習状況調査(R6)
平均正答率
国語68(県57,全国58.1)
数学64(県48,全国52.5)



めざす子ども像
知：学び合う子ども
徳：高め合う子ども
体：きたえ合う子ども



共同研究 研究主題
生徒の主体的・協働的な
学習態度を育み、自己肯定
感を高める指導の工夫
～少人数の良さを生かした
対話的な学びの実践を通して～

<生徒の実態・学習習慣>

- 素直で何事にも前向きに取り組む姿勢が見られる。
○固定化された人間関係により、話し合い活動において、考えを広げたり深め合うことに繋がらない傾向にある。
○自らの向上に向けて努力することで得られる達成感は、生徒の活動のさまざまな場面で見受けられるものの、自己肯定感に結びついていない。

チャレンジ → 称賛 → 価値づけ



	「授業における手だて」 ※主体的対話的で深い学び	「家庭学習の充実」 ※自己マネジメントができる子ども	「授業外における手だて」 ※自発的、主体的活動の場づくり
P L A N	○現職教育計画 ○「授業スタンダード」 「学びの变革授業デザイン」 「昭和村スタンダード」 ○総合的な学習の系統表	○「家庭学習スタンダード」 「家庭学習の手引き」 「自主学習のコツ」	○図書館計画 ○現職教育計画 ○情報教育計画 ○小中連携推進
D O	○「昭和村スタンダード」 ①【学習課題の把握】 ②【知的好奇心の喚起】 ⑤【追求・解決】 に重点を置いた授業改善 ○研究授業の実施 ○ICT活用→個別最適化学習 ○探究的な総合学習	○家庭学習「自主学習ノート」 平日：10分×継続性+10分 休日：2時間以上 ○授業と家庭学習の連動 ○「メディアコントロール」 ○適切な課題提示と学習支援 ○博士検定に向けた学習の奨励 ○各種検定試験の対策 ○受験教材を使用した入試対策(3年)	○読書活動の推進(月1冊以上) ・朝の「全校読書」 ・全校ビブリオバトル ○「博士検定」実施 ○ICT機器の積極的活用と 情報モラル指導 ○小学校乗入授業の充実 ○他校との交流(三町村)
C H E C K	○週案の活用 ○学校評価アンケート ○各種テストの結果分析 (定期テスト、全国学力・学習状況調査、NRT他) ○授業研究会・互見授業での 成果と課題の共有	○学習状況の点検と指導 ○学習アンケート ○学校評価アンケート ○各種テスト結果分析	○読書に関するアンケート ○「博士検定」結果分析 ○ICT機器活用状況の把握 ○小中、中中教職員間の日常的 な情報交換
A C T I O N	○生徒個別の課題把握と支援 ○授業研究会等の協議による 成果と課題の明確化 ○日々の授業改善の継続 ○総合的な学習の成果発表	○模範的自主学習の称賛、掲示 ・未提出者への対応、家庭との連携 ○「メディアコントロール」の 振り返りと評価の共有 ○テスト、検定結果通知と反省	○読書意欲を高める図書館整備 ○「博士検定」結果の賞賛と 学習意欲の喚起 ○ニーズに応じたICT研修 ○小中連携のさらなる推進 ○他校交流会の工夫改善